

バスケットボール戦評記入用紙

大会 (新人・関東・インターハイ)
 試合 (決勝・準決勝・準々決勝・決勝リーグ)
 日時 6月25日 日曜日 第 2 試合 時刻 11:30
 記入者名 祐木 毅

A チーム	得点		得点	B チーム
<u>正智深谷 高校</u>	<u>65</u>	(<u>46</u>	<u>川口北 高校</u>

戦評

第1P、両チーム共にマンツーマンディフェンスでゲームをスタートする。先手を取ったのは正智。#6のポストプレイ、#5のインターセプトからのレイアップシュートでリードする。対する川口北は、正智の高さを気にしてシュートチャンスを逸していたが、得意のドライブからゴール下で合わせるプレーで#7、#9がシュートを決め、徐々にペースを掴む。ミドルシュートも決まり出し、#5が連続してジャンプシュートを決める。さらに#7がオフェンスリバウンドからバスケットカウントを決める。正智深谷はインサイドからアウトサイドにパスをしてシュートに繋げるがシュート確率が上がらない。#6がポストプレイで得点するも得点が伸びない。15対17で川口北2点リード。

第2P、正智はロースコアの展開を打破すべく、#9が3Pシュートを決め逆転する。インターセプトから#5が速攻を決めて試合の流れを引き寄せる。このまま正智のペースになるかと思いきや、川口北#5の3Pシュートが決まり何とか食らいつく。その後はお互いにアウトサイドシュートが決まらずなかなか得点が伸びない。高さに勝る正智はオフェンスリバウンドを制したいとこだが、川口北も粘って譲らない。26対23と正智が3点リードするも、ロースコアゲームのまま前半を終了する。

第3P、正智#6がオフェンスリバウンドからシュートをねじ込む。更に#6はポストプレイからもゴールを狙い相手のファールを誘う。川口北も#11、#7のジャンプシュート、#7のゴール下の合わせのバックシュートを決め対抗する。今まで不調だった正智のアウトサイドシュートが後半にきて#10、#4の3Pシュートが決まり出し、点差を広げていく。残り3分になり9点差で正智リードとなるが、川口北も踏ん張り、#8のジャンプシュートが連続で決まり、更に#10の3Pシュートも決まり、2点差に縮める。

第4P、正智は徹底してインサイド#6にボールを入れる。ここまでインサイドをよく守ってきた川口北であったが、#6のポストプレイを抑えきれなくなり徐々に点差が開いていく。何とか食らいつきたい川口北であったがアウトサイドシュートが決まらず、得点でできない。正智は#4の3Pシュートが決まり落ち着きを取り戻す。川口北もいいタイミングでのジャンプシュートがことごとくリングに嫌われ、反撃の機会を逸してしまう。最後まで粘りを見せるが、関東大会埼玉県予選のチャンピオンの正智がゲームを制し、インターハイ出場に大きく近づいた。